

委員意見整理表

No.	委員意見（原文）	答申案での取り扱い
1	広聴会では「地域拠点」「既存施設活用」の声が多い一方で、審議会が目指してきた「現役世代・子育て世代にとって、より良い教育・子育てのために何が必要か」という観点の声が広聴会ではあまり聞かれなかった。だからこそ、都市拠点の議論では現役世代の意見を大事にしてほしい。	1、2（1）、2（3）に反映 公聴会等の多様な意見を受け止めつつ、現役世代、将来視点を重視する姿勢として全体に反映
2	都市拠点づくりは「未来への遺産」という思いで取り組んでいる。広聴会では賛否があり、「地域拠点の充実」「峰山まで出にくい」といった反対・懸念もあったが、反対意見も大切にしながら、赤ちゃんから高齢者まで“作ってよかった”と言えるものに向け、前向きに進めるべき。	1、2（1）、3に反映
3	まとめると要はお金の話で、こちんまりするならやめた方がいい。魅力的ならどこからでも人が来るので、近隣市町の同様施設から利用者が流れてくるくらい、他にないプラスアルファを備えたインパクトのあるものが必要。ただ、それが何になるのかがまだ示せず、示せない以上反対は続くと思う。	2（1）、2（2）、2（3）に反映
4	令和3年の答申から大きく変えるものではない印象で、より詳しい説明・具体を盛り込めればよい。インクルーシブ（クールダウン等）も必要で、機能面でも子ども部が関与しないとワンストップ相談窓口は持てないと思うので、そこをきちんと盛り込んでいきたい。あわせて「整備に時間がかかる間の手当」や「地域での子育て」も、もう少し具体的に伝えたい。	2（2）、2（3）、2（4）に反映
5	ここは「子ども未来まちづくり審議会」だが、子育てに特化した議論に寄りすぎるのは残念で、令和3年答申でも述べたとおり、図書館や商業など他機能と一緒にする複合施設としての価値（まちの将来像）が重要。子どもの遊び場だけにすると「空いた施設でいいのでは」という議論に流れやすい。市として「どういうまちを作りたいから、ここにこれを作るのか」をもっと語ってほしい。	2（2）、2（4）、3に反映
6	学校の統廃合や送迎等で、保護者同士が話す時間も減っている。だから、平日働いている人たちが土日祝日に集える、図書館等も含む多目的要素で集客できる施設を前面に出すのもよい。	2（2）に反映
7	都市拠点は子育て支援の場だが、地域では「子どもがいない」「声が聞こえない」をよく聞く。逆に、そこへ行けば子どもの声が聞けて元気をもらい、健康長寿にもつながるようなイメージが持てると、高齢者も気持ち向きやすい。	2（1）、2（2）、2（4）に反映
8	カフェ併設が大変ならキッチンカー、イベントができる広さがあれば幅広い年齢の交流や学生ボランティアもできるので、そういうことも盛り込めるとよい。	2（1）、2（2）に反映
9	公共施設でも、利益を大きく出す話ではなく、例えばお母さんたちが作っているものを売る等、イベントスペースの活用が見えると、もっと楽しいスペースになる。	1、2（1）、2（2）に反映
10	未来志向として、災害（南海トラフ等）も踏まえると、都市部から地方への子育て世代の移住が進む可能性もあり、そうした観点からも、子育て支援拠点をイメージできるものがあるべき。また、大会誘致ができる施設が“あって良かった”と思えることがあるので、同様の観点で都市拠点のような文化的施設があってもよい。ただ、長岡地区に施設が集中することがどうなのかという感覚もある。	2（1）、2（2）、2（3）に反映

No.	委員意見（原文）	答申案での取り扱い
11	<p>廃校活用などへの意見に対して資料は詳しく整備されているので、市として声を聞いて終わりではなく、答えを返す（説明する）場を設け、資料をもって説明すれば納得感につながると思う。</p>	<p>1、2（4）、3に反映</p>
12	<p>峰山に拠点ができるのはありがたい一方で、“数時間遊びたい”程度でも毎回峰山まで行くのは負担になり得る。住んでいる地域の近くにも、地域のお母さんたちと接する場所がほしい。既存の支援センター等を土日祝に開放してもよいのでは、という感覚がある。</p>	<p>2（1）、2（3）、2（4）に反映</p>
13	<p>本市は6町あり、各地域の拠点づくりにもしっかり取り組む必要がある。公民館サロンは高齢者向けが多いが、子育てにももう少し配慮したことを新しいコミュニティでやってもらえるようになれば。人口が減っても面積は変わらず、合併後年数も経っているので、市としてランドデザインが必要。</p>	<p>2（3）、2（4）、3に反映</p>
14	<p>一極集中だと地域は切り捨てられた思いにつながるので、地域には我慢してではなく、せめて既存部分の充実等を進める方向で考えてほしい。</p>	<p>2（3）、2（4）、2（5）に反映</p>
15	<p>障害のある子どもは、健常の子の中に「入ればいい」と言われても現実には難しく、連れていけないから参加できないことがある。だから、「障害のある子ども安心して連れてきてよいスペースを必ず確保する」ことを盛り込んでほしい。また、障害のある子の存在を知ってもらい交流できる場にしてほしい。</p>	<p>2（2）、2（3）、2（4）に反映</p>
16	<p>発達障害の子など、人が多い場所がしんどい子のために、薄暗く落ち着いたクールダウンスペースがあると、それぞれの子がそれぞれの場所で過ごせる。</p>	<p>2（2）に反映</p>
17	<p>前回答申にもあった「整備までの代替機能」が今回も入っているが、前回書いたのに進まず今に至ってまた同じことを言っているのでは、審議会意見が通っていることにならないので、しっかり進めてほしい。</p>	<p>2（3）、2（4）、3に反映</p>
18	<p>4年前に、複合施設整備を進めつつ、それまでの間に既存施設活用で「すぐにも親子が利用できる施設整備」を進めてほしいとまとめた記憶だが、ここ数年足踏み状態で、その当面对応が進んでいけば市民へのアプローチも違ったと思う。</p>	<p>1、2（1）、2（4）に反映</p>
19	<p>仮設で同様の屋内遊び場を作り、将来は常設が整備されると具体物でイメージを示すことも、訴える材料になり得る。</p>	<p>1、2（4）、3に反映</p>